

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	すみだステップハウスおおぞらにじの子(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	R7年 9月 1日	～	R7年 11月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	271人	(回答者数) 172人
○従業者評価実施期間	R7年 10月 1日	～	R7年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	23人	(回答者数) 23人
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 13日		
○ 分析結果			
	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子通園のため保護者も療育に参加することで、お子さんの様子やお子さんに合わせた関わり方を一緒に確認し共有することができ、支援方法を家庭や在籍集団で活かすことに繋がっている。</li> <li>・保護者交流会、保護者教室などの保護者支援プログラムが充実している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子さんの発達段階や特性に合わせた活動を設定し、活動後の保護者フィードバックにて活動のねらい、お子さんの様子について振り返り、質問・相談に対して返答したり、保護者同士の情報共有などに取り組んでいる。</li> <li>・保護者交流会を定期的に行い、就学・就園の情報提供や保護者同士の交流の場となるようさまざまなテーマを決めて提供している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小集団のなかでお子さんの状況と保護者ニーズを丁寧に聞き取り、育児の不安や悩みに寄り添いながらさらに一人ひとりに対して発達支援と保護者支援の質を高めていく。</li> <li>・保護者交流会は保護者のニーズを踏まえたテーマを設定し情報共有を図るとともに、同年齢・異年齢それぞれのつながりが持てる場としても提供していく。交流会の周知は、資料配布・掲示、アプリ等の配信で各保護者の方に情報を提供する。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各専門職の心理士・ST・OT・看護師が在職しているため、お子さんの状況に合わせた療育の提供ができる。</li> <li>・児童精神科・小児整形・小児神経・摂食相談など各専門医の医療相談が毎月定期的に提供ができ、保護者の方のニーズに合わせて相談や発達状況を確認して医学的な助言を受けることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団療育スタッフと療法士が情報共有を行い、お子さんに対しての支援方法や発達段階に適した課題・活動内容を検討し提供している。</li> <li>・専門性を活かし各専門職との情報共有を行うことでチーム連携に取り組んでいる。</li> <li>・医療相談での情報を共有して療育支援に取り入れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チーム連携することで、多岐の視点を取り入れお子さんに合った支援を提供する。集団療育では定期的に専門職の視点を取り入れ活動内容や支援方法の見直しの検討を行う。</li> <li>・今後も医療相談を行った後に保護者と支援の配慮点など確認し、医師のアドバイスを活かした支援を提供する。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談・すみだ保健子育て総合センター・他事業所など地域の関係機関との連携ができる。</li> <li>・保育所等訪問支援やお子さんが通園している在籍集団との情報共有と連携ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みつばち園と支援方法や運営など協力体制を構築している。</li> <li>・保育園・幼稚園などの関係機関とは保護者の方の了承を得た上、支援方法の共有やアドバイス等を行うことにより、お子さんにとって安心して取り組める環境が増えるよう働きかけている。ケースによっては関係機関の方による療育場面の見学も受け入れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して関係機関との連携をさらに強化していく。</li> <li>・保育所等訪問支援から得たお子さんの様子を踏まえた支援内容や方法を検討し活動内に取り入れ、保護者、在籍集団と情報共有を行っていく。</li> </ul>
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団療育に関して、対人援助職として現場での経験を重ねて技術や知識を身に付けていくことが多く、職員間で知識や技術を共有するうえでのマニュアル化が難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に職員の入れ替わりがあり、人材が安定しない。</li> <li>・活動内容や支援方法はお子さんの様子に応じて臨機応変な対応が必要となるため、個々の経験や知識によって偏りが生じやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修に参加できる機会を増やし、職場全体で共有することで全体で知識の共通化を図っていく。</li> <li>・支援の振り返りを行う時間をさらに確保し、職員間でのその日のうちに活動やお子さんの対応について情報を丁寧に共有し、チーム全体で支援の方向性の共通認識を深めていく。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共働き家庭が増えて仕事との両立など調整が必要な状況があり、集団・個別療育ともに定期的な利用が難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共働き家庭が増えて仕事との両立の為、平日の通園の調整が難しい家庭が増えている。</li> <li>・仕事の調整が難しいために、休みが多く療育の積み重ねが難しい状況にある。</li> <li>・療育が必要なお子さんが利用に至らない場合がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者にとって有益な情報提供や、保護者同士のつながりを作る機会を設ける等の支援を提供する。</li> <li>・保護者のニーズを踏まえ次年度は4、5歳児の複数回グループを新設するなど柔軟に集団療育のグループ編成を行っている。</li> <li>・保護者の要望に応じて民間療育施設と情報共有を行う。</li> <li>・年度後期に集団療育が必要な対象年齢を絞り、隔週土曜日でめるんグループを実施しており今後も継続していく。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日程調整のご希望により需要の多い曜日や時間帯に集中してしまい予約枠に偏りが生じてしまう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共働き家庭が増え、平日でも需要の多い曜日や時間帯に集中しやすいなどの制約があり、予約のスケジュール調整が難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の方の希望を伺いながら、各療法士が空いている時間や曜日等の提案をし調整をしている。</li> <li>・土曜日などは需要が多い状況であるが、限られた枠の中で調整して取り組みを行っている。</li> <li>・希望の多い枠が固定しないよう協力をお願いし、平等に利用できるよう取り組んでいく。今年度は金曜のPT枠を月初の一斉予約制とし、予約時の公平性が保てるよう試行している。</li> </ul>

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	すみだステップハウスおおぞらにじの子(児童発達支援)				公表日	令和 7 年 月 日		
				利用児童数	令和 7 年 2月 24日	回収数	81 名	
チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	141	8	4	時々子供同士がぶつかりそうになる時がある。先生や他の保護者のことを叩いてしまう子の座席との距離が近くて、叩かれるのではないかと警戒しながら療育に参加することがある。私の子どもはまだ2歳のため、十分だと考えています。待つのが難しい子どもに待合スペースが欲しいです。	職員間で活動内容や座席配置について打ち合わせを行い、お子さんの様子や動きを想定して状況に応じて職員の配置やパターションを立てる、空間を仕切るなど環境設定を工夫していきます。待機時には本や感触グッズなどの貸出も可能ですので、お子さんが手持無沙汰な様子がある際は遠慮なく担当職員や事務所職員にお申し付けください。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	127	5	1	20	仕方がないと思いますが集団療育で動いてしまう子がいる(我が子も含め)そこに1人人員を取られてしまい他の子への対応が手薄になってしまうのが気になってしまいます。動きが大きい児童に職員がつきつきりになりがち。状況により、もう1人先生がいらした方がスムーズかな?と思う時がある。理学療法が金曜日のみなので、職員の確保ができる負担も減るし利用者の幅も広がると思う。利用者が多いので、1人月2回以上できるような職員数を希望します。昨年より増えたので、多いのが適切なかわからなくなりました。	お子さん一人ひとりに支援が行き届くよう職員間でその日の動きや役割を明確化し、活動の内容やお子さんの様子によって職員の数を増やす、活動スペースを分けるなど検討しながら取り組んでいきます。個別療育に関しては回数や時間を増やすことは困難な状況ですが、日常生活でも療育効果が高められるよう家庭や保育園等のできることを提案していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	136	5	12	うちの子は電子機器に興味があるため、CDプレーヤーの操作部分が全く見えない作りだと尚良い。個別の部屋が少ない。	お子さんが興味をひきそうなものは置き場を変える、目隠しをするなど集中がしやすい環境設定に取り組んでいます。上記同様、個別療育に関しては部屋の数を増やすことは困難な状況ですが、日常生活でも療育効果が高められるよう家庭や保育園等のできることを提案していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	147	3	1	2	指しやぶりして子の唾液が机に付き、その後机を動かし、その机が自分の子に当たるのが嫌。ごまめに拭いてほしい。部屋によっては窓等が見えず、暗い感じもするので、もう少し明るい空間だと良いなと思います。来た時に手を洗ったりしたい。冬になったら感染症が広がりそう。とても綺麗だと思います。特にトイレが清潔で子供が使いやすいようになってるの嬉しいです。	感染対策も含め、衛生面の対応をごまめに行っていきます。玄関に手指消毒用のスプレーおよび自動装置の用意もごさいますのでそちらもご利用ください。時間帯によっては窓から強い日差しが差し込むことや外からの音などの刺激を抑えるためカーテンを開けていることがあります。ご了承ください。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	133	16	4	本当に一部の職員の方ですが、こどもの特性等に合わせた接し方をしている気がします。ほとんどの方は大変丁寧な接してくださっています。担当していただく支援員さんごとに差が大きい。クラスごとに専門性の高い人をバランスよく配置してほしい。特性が軽~中度のクラスの質が下がってしまっている気がする。もう少し頻度を多く、利用できると思いいます。親世代には相談出来ず、相談窓口がにじの子しかないのでも助かっています。まだお付き合いは短いですが、娘にも分かりやすい言葉や身振り、表情を作って対応してくださってる為、毎月娘も楽しく支援受けられています。	活動後には職員全体でその日の支援方法について振り返りを行い、一人ひとりのお子さんについての理解を深め、共有して支援にあたるよう取り組んでまいります。また、職場内の事例検討や外部研修の参加などを通して職員の資質向上に努めます。にじの子は親子通園の療育機関となっておりますので、お子さんだけでなく保護者のかたの子育てについてのお悩みや困りごとについてもお力になれば幸いです。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	129	5	19	事業所が公表している支援プログラムを見たことがない。アンケート対策として、初回の説明時に公表しているプログラムと実際の提供プログラムと照らし合わせをしていただくと分かり易いと思います。	支援プログラムは令和7年度4月よりにじの子ホームページにて掲載しています。今後周知徹底していきます。	
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	140	11	2	鉛筆など修学に向けた指導もしてほしい。個別支援計画が作成されているが、控えを受け取っていない。	それぞれのお子さんの発達段階にあわせ、活動内容に取り入れていきます。支援計画の控えに関しては初回時にお渡ししています。再発行が必要な場合は担当職員にお申し付けください。	

適切な支援の提供	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	118	6	1	28	初回に説明があったのかもしれませんが、ガイドラインの内容を把握できていません。	ガイドラインにおいて個別支援計画の中に「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」を取り入れることが示されており、それに基づいて作成しています。（「児童発達支援ガイドライン」は厚生労働省ホームページ参照）
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	131	14	1	7		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	120	10	2	21	前回もやったような課題が多い。	活動内容や課題設定については、保護者の方のご意見も取り入れて対応していきますので、ご意見ご要望をお気軽に職員にお話しください。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	75	8	11	59	保育園には通っているが、特性のためあまり関わりを避けている。 にじの子で他の子と関われるのは理解も得られるため、とても大きい。	まずは小集団の安心できる環境のなかでコミュニケーションスキルを高め、地域での関わりに広げられるよう取り組んでいきます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	146	5		2		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	147	2		4		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	103	8	1	41	ペアレントトレーニングの場を設けてほしい。 勉強会はとても参考になっている。 研修は日中が多く、保育支援が必要。働いて障害児を働いている保護者は研修など参加する機会が難しく学べないことがあります。 研修会など色々実施されていますが、週の療育に通うのが精一杯で、中々他のものを受けられないのが現状です。 zoomの勉強会は在宅で聴講出来るのでとても助かりました。	保護者交流会、ミニ勉強会、公開講座など年間を通して様々なテーマで研修や意見交換の場を設けています。内容や日程、お申込みに関しては紙面のご案内の他、配信されているにじの子だよりにも記載されています。 Zoomでの視聴が可能な会もありますのでご興味のある内容のものがありましたらぜひお問い合わせください。 今後さまざまなニーズにそった研修の機会を設けていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	140	11		2	申し訳ないくらい聞いて頂いて助かっております！	お子さんの日ごろの様子については支援にあたるうえで欠かせない情報となります。お子さんのことで伝えたいことがありましたら職員にぜひお声がけください。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	128	17	1	7	個別相談を利用していなければ助言を受ける機会はあまりないかもしれない。 現状の月1回では、相談の機会をとるまでには至れていないと感じています。 毎回のフィードバックの時間があるが個人的な相談を他の保護者の前でするのは少し話をしづらひと感じます。 もちろん、開始前後に先生に話をする機会がありますがお互い準備等で機材の準備でもう少し個人ごとに相談する機会があればと感じる事もあります。 行われていると思うが、時間が足りない。	個別療育の場合は、時間内で相談時間を多く取るなどの対応を致しますので事前にご相談ください。別室対応など分譲のご希望がありましたら職員にお声掛けください。 集団療育の場合は、別日での個別面接も可能です。月案には職員の土曜出勤日を記載しております。日程調整の上で個別面接を設定いたしますので、ご希望の方は職員にお声掛けください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	145	6		2		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	55	16	6	76	保護者交流やきょうだい支援はあまりないと感じる。 保育園の行事でまだ保護者会には出たことがないが、彼らなければなるべく行きたい。 保護者同士の交流の機会はありませんが、きょうだいむけの交流は利用していません	集団療育のフィードバックや土曜日に実施している保護者交流会で、交流の機会を作っていきます。 きょうだいへの支援については、講演会を行うなど情報発信に努めます。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	116	7	1	29	当初、区役所の手違いで初回利用に至るまでとても時間がかったため、再発防止をお願いしたいです。	初回の個別療育の利用までに時間がかかったことお詫び申し上げます。障害者福祉課とも情報共有をし、再発防止に努めます。	

保護者への説明等	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	138	8	1	6	面談時に子どもが同室にいると、集中できなかったり、話す内容が限られたりする為、5分だけでも別室でお話できるとより有難いです。たまに、なぜ今のタイミングで言うのだ?と疑問に思う時がある。	分離での対応をご希望の場合は職員にご相談ください。今後はお話す場所、時間にも配慮していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	83	11	1	58		にじの子だよりに情報を掲載しています。にじの子だよりは掲示、配信しておりますのでご確認ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	132	4		17	基本的には十分に留意されているが、閲覧可能なプリントに目を通したときある児童の名前、住所などおもいきり個人情報が記載されていてこの子の家族は個人情報さらされて大丈夫なのか?と心配になった。	ご指摘ありがとうございます。ご心配をおかけして申し訳ありません。今後は掲示物は複数人で確認するなどチェック体制を整え、個人情報の取り扱いには十分注意していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	80	6	1	66		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	61	3	1	88	訓練に参加できていない。	総合防災訓練、避難訓練、感染症防止訓練などを定期的に行っており、訓練日に療育に来院の方に参加をお願いしています。参加のご希望がありましたら担当職員にお声掛けください。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	112	3		38		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	72	5		76		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	146	3	1	3		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	134	13	2	4	行けば楽しむが、行くまでは乗り気ではない。先生に会えるのをすごく楽しみにしているので、通所させるのが親も楽しみになってます。にじのこの先生が大好きで、療育がない日も名前を出して「また、いこうね」と話しています。子供が先生のごことが大好きで、とても楽しみに通っています！にじの子に着くと早く入ろうと促してくるくらい楽しんで通っています♪	今後にもにじの子がお子さん、保護者にとって安心できる楽しい場所になるよう活動内容や支援方法をさらに検討していきます。また、お子さんがにじの子に行きたがらない時には理由があると思います。活動内容、時間帯を見直すなどの対応も検討いたしますので、職員にご相談ください。
	29	事業所の支援に満足していますか。	131	20	2		一時間半もしくは、曜日を増やしたい。療育職員が連携して発達支援するように努めたい。利用できる回数を増やして欲しいです。事業所の支援には満足していますが、年4回までなのが足りなくて不安です。短い時間で適切なアドバイスや療育を受けられていることに、とても感謝しています。5年間通い、とても成長しました。	少ない回数や時間ですが、集団療育及び個別療育職員が連携して発達支援するように努めます。また、ご家庭や在籍園で活かすことができる支援内容・方法をお伝えするように努めます。

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	すみだステップハウスおおぞらにじの子(児童発達支援)			公開日	令和 7年 12月 11日
チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
1	16	4	1グループを2つに分け、5人のグループとし、スペースをカバーしている。	他のお友達が刺激になる場合、バテーションなどで隔離する工夫をするが、ホワイトボードや折り畳みマットなどで代用するため、改善が必要。集団の人数に差がある。	
2	15	5	個対応のお子様に対して、対応できる人数配置である。状況によっては職員が多いほうがスムーズに進む場面もあると思われる。グループを2つに分け、同一人数でキメ細かい支援を実現。お子さんの様子によっては足りないのに、職員の人数を増やしたり、出すものを整理して課題を設定している。	幼児・学齢児ともに夕方の時間帯を希望する方が多く、職員・部屋ともに不足していると感じる。	
3	20	0	トイレに脱衣スペースを設けている。各グループの子どもの様子によって、席の配置やお支度の場所、部屋を仕切るなどの工夫をしている。予定表を立てて見通しを持つ点が工夫されている。		
4	18	2	お掃除を徹底している点が生活を保つ工夫である。	複数人使用可能なトイレは、基本的には女性と幼児用だが、利用者の父親が子ども介助のために入浴することもあり、改善が必要と思われる。また、個室のトイレも音などのプライバシーが守られていないと感じる。	
5	14	6	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	日常的にすべての部屋を使用していることが多く、クールダウンするスペースの確保が難しい。療育室に入れない場合などにクールダウンできるスペースが確保されると良い。個別の部屋は確保できない。スペースの確保も、時に難しい。	
6	17	3	皆で話し合って意見を出し合っている。具体的な目標の設定と、上司との面接を年に数回実施している。	定期的ケース会議の時間が取れるようになると良い。	
7	20	0	保護者向けの評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		
8	17	3	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		
9	18	2	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		
10	19	1	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	外部の専門家によるスーパーバイズが受けられると良い。	
11	19	1	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		
12	19	1	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	困りごとについて職員に伝えられない保護者への対応を怠らない工夫が必要。	
13	17	3	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	職員同士で意見交換することを元に作成し、児発管責任者への意見を受けて丁寧に作成している。	
14	20	0	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	時間をかけて作成している。	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	16	4	医師や療法士からの意見をお聴きしながら、一人一人の対応について考えている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	20	0	保育所等訪問支援や母集団との連携を取っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	20	0	立案し、活動内容について話し合う。 毎月の立案はチーム全体で行ったうえで、活動前にも綿密な相談がなされている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	19	1	昨年と同じ活動内容にするのではなく、今年度参加している子どもに、合わせた活動内容にしようと話し合いを行なっている。 お子様にあったプログラムにしている。 グループのお子さんの課題に沿った柔軟性のある支援を行なっている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	19	1	そのように努めている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	20	0	必ず行なっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	20	0	記録を書きながら今日の反省点を話し合う。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	20	0	全職員が共有できる記録の形式や内容などにしていけると良い。 徹底している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	20	0	半年に一回行なっている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	19	1	チームでお子さんについて把握している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	20	0	行なっている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	20	0	必ず行なっている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	20	0	就学支援シートを活用している。 就学支援シートの作成や、保護者の了解のもと必要となる児童に関しては学校との引継ぎを行っている。 就学先との連携はされている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					

関係機関や保護者との連携	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	13	7	他施設への見学や見学受け入れ等、連携が図れていると思う。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	11	9		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	20	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	17	3	子育て公開講座、保護者交流会。ミニ勉強会の主催や地域で開催される講習会への案内などの案内を行っている。	十分にはやれてない。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	20	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	20	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	20	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	19	1	質問の多い保護者には連絡カードを活用し必要な情報を共有しつつ、他の保護者とも交流できるよう工夫している。	保護者との面談をできる機会が増えるといい。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	18	2	土曜日の交流会では平日の療育に参加が難しいお父様方も参加しやすく、よい交流の機会になっているように感じる。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	20	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	19	1		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	19	1		個人情報に関する書類・機器の管理の見直しが必要だと感じる。
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	20	0			
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	20	0	おおぞらまつり。年に1回地域住民も参加可能なおおぞらまつりを開催している。		

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	20	0	その都度行なっている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	20	0	避難訓練を定期的に行なっている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	18	2		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14	6	食事提供はしていない。 該当なし 食事を提供していない。 活動で使用する素材にアレルギーがあるかを保護者に確認している。 食事提供はしていません。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	20	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	20	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	20	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	20	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	20	0		